

3市町と災害時相互応援協定を締結しました！



▲平泉町との協定締結の様子



▲住田町との協定締結の様子



▲立川市との協定締結の様子

幸田町は、大規模災害発生に備え、7月12日に岩手県西磐井郡平泉町、13日に岩手県気仙郡住田町と17日に東京都立川市と災害時相互応援協定の締結をしました。応援協定の内容は、人的、物的支援、被災者の一時受け入れなどの相互支援です。

平泉町は、岩手県内陸部に位置し、自動車部品製造会社のフタバ産業(株)の工場が立地しています。幸田町にある同社工場が、東日本大震災発生直後に、平泉町を通じて行った津波被災地への支援活動が発端となり今回の協定へのはこびとなりました。また平泉町は世界遺産である中尊寺や毛越寺を有しています。

同じく岩手県内陸部に位置する住田町は、津波被災地のバックヤード機能を果たしており、幸田町と地形的に共通点があること、また、幸田町と以前から交流のあった特定非営利活動法人 NPO 愛知ネット（本部・安城市）が住田町を拠点に被災地支援を展開していることを通じて協定締結にいたりしました。

立川市は、市内で開催された立川断層講演会に副町長が参加したことがきっかけで、幸田町も深溝断層を抱える立場であり、断層をもつ双方の市町の共通性の多い防災対策が縁で、相互協力への協定に進展しました。

先月号でお知らせした長野県箕輪町を含め、全部で4市町との災害時相互応援協定を締結しました。今後、協定市町とは文化、教育や人事交流などを図り、未永いお付き合いのできる関係を築いていく予定です。

問合せ 防災安全課安全対策G（内線371）

幸田町ユニバーサルホッケー大会の結果をお知らせします

6月30日（土）、7月1日（日）に豊坂小学校体育館と勤労者体育センターで第36回幸田町ユニバーサルホッケー大会が開催されました。今大会には、計120チーム860人が参加し、白熱した試合が繰り広げられました。大会結果は次のとおりです。

小学生1・2年の部：トヨサカ☆ドラゴン
小学生5・6年の部：とよさか☆しめじ
シニアの部：フレンドリーズ

小学生3・4年の部：トヨサカ☆ウルフ
ジュニアの部：坂崎ローリングスX



▲トヨサカ☆ドラゴン



▲トヨサカ☆ウルフ



▲とよさか☆しめじ



▲坂崎ローリングスX



▲フレンドリーズ



問合せ 生涯学習課スポーツG（内線192）

幸田町子ども会ソフトボール大会の結果をお知らせします

7月22日(日)・29日(日)に幸田町子ども会ソフトボール大会がとぼね運動場で開催されました。結果は、優勝が豊坂南部子ども会、準優勝が大草子ども会A、3位が市場ジャイアント子ども会、4位が桜坂子ども会Aでした。上位3チームは8月19日(日)に西尾市(旧一色町)の坂田グラウンドで行われる第2回西尾市子ども会ソフトボール親善大会に出場します。



▲優勝した豊坂南部子ども会



▲準優勝の大草子ども会A



▲3位の市場ジャイアント子ども会

問合せ こども課こどもG(内線141)

自動車盗・車上狙いに注意しましょう！

◆自動車盗難被害は、愛知県が4年連続全国ワースト1位！

◆車上狙い・部品狙いが町内および近隣で多発！

「自動車盗」「車上狙い」は、最も身近な犯罪の一つです。大切な愛車の部品や貴重品を盗まれたり、ましてや車両ごと盗まれたら一大事です。対策には万全を期しておきましょう。



必ず施錠する

犯行にかかる時間は数分です。短い時間でも油断せず、必ず施錠しましょう。

車内に荷物を放置しない

車内にカバンなどがあるとガラスを割られて被害にあいます。ゴルフバッグを盗まれる被害も多発しています。

防犯装置をつける

イモビライザ、警報装置、ハンドルロックなど二重三重の対策をしましょう。

安全な駐車場にとめる

明るく管理された見通しのよい駐車場を選び、飲食店の駐車場などでは目の届く場所に駐車しましょう。

問合せ 防災安全課安全対策G(内線371)

事業仕分けの判定結果

とき：7月21日(土) / ところ：幸田町中央公民館 ホール

No.	担当課	事務事業名	判定結果						結果
			① 不要、 民営化	② 国・県・ 広域実施	③ 抜本的見直し	④ 町が実施 (現行どおり、 拡大)	⑤ 町が実施 (内容・規模見直し)	⑥ 町が実施 (民間委託化 ・民間委託の 拡充)	
1	こども課	住民広場等設置整備事業 (住民広場)	3	0	4	4	16	0	⑤
		住民広場等設置整備事業 (ちびっこ広場・児童遊園)	5	0	6	3	12	1	⑤
2	こども課	児童館管理運営事業	4	0	16	2	5	1	③
3	産業振興課	道の駅管理業務	11	1	2	4	4	6	①
4	産業振興課	雇用対策事業	11	7	7	1	2	0	①
5	生涯学習課	文化振興事業交付金	3	0	3	9	12	1	⑤
6	生涯学習課	放課後子ども教室事業	0	0	10	5	13	0	⑤
7	生涯学習課	文化財調査事業(本光寺関連)	4	6	7	5	5	0	③

コーディネーター 石井良一(滋賀大学社会連携研究センター 教授)
仕分け人 浜原弘也(幸田町行財政改善調査会委員)、杉森順子(愛知工科大学准教授)、
 (順序不同・敬称略) 高橋貴士(幸田町青年農業会議会長)、鶴田智博(弁護士)、
 黒越頼雄・西田隆司・田口智弘(滋賀大学事業仕分け研究会)

とき：7月22日(日) / ところ：幸田町中央公民館 ホール

8	税務課	町税賦課徴収事業 (コンビニ納税の導入)	-	-	-	6	14	-	⑤
9	環境課	新エネルギーシステム等 設置費補助事業	5	1	13	1	2	0	③
10	住民課	健康指導事業	3	1	10	3	4	1	③
11	福祉課	(社)幸田町シルバー人材センター 運営事業補助金	7	0	4	1	10	0	⑤
12	福祉課	(社)幸田町社会福祉協議会 運営事業補助金	4	0	5	1	11	0	⑤
13	健康課	各種講座等の開催	4	0	9	3	4	1	③
14	健康課	歯周病検診委託料	2	0	3	9	7	0	④

※ No.8「町税賦課徴収事業」はコンビニ納税導入の是非について議論し、判定区分を「④導入しない」「⑤導入する」として実施しました。

コーディネーター 石井良一(滋賀大学社会連携研究センター 教授)
仕分け人 安藤達也(弁護士)、鈴木誠(幸田町青年農業士)、高井浩安(幸田町商工会青年部顧問)、
 (順序不同・敬称略) 本田精治(幸田町商工会理事)、黒越頼雄・西田隆司・田口智弘(滋賀大学事業仕分け研究会)

問合せ 総務課人事行革G(内線 323)

「平成24年度 幸田町事業仕分け」の結果をお知らせします

7月21日(土)と22日(日)の2日間、幸田町中央公民館において昨年に続き2回目となる「幸田町事業仕分け」を実施しました。

滋賀大学社会連携研究センターの石井良一教授^{いしりょういち}の進行のもと、町内外の有識者や滋賀大学事業仕分け研究会メンバーで構成する仕分け人と町の担当職員がそれぞれの事業の必要性や手法などの是非を議論しました。各事業の評価・判定は、51人の町民判定人が行いました。



2日間、計14事業の判定結果は右ページのとおりです。「抜本の見直し」や「内容・規模見直し」が多く、町にとって大変厳しい結果となりましたが、今後、議会を始め関係機関とも協議の上、次年度以降の対応方針を検討していきます。

なお、今後の経過などにつきましても、広報やホームページでその都度お知らせをしていきます。

事業仕分け結果に対する今後の対応

Step1 幸田町事業仕分け委員会での検討

幸田町事業仕分け委員会において、事業仕分けの判定結果、判定人の意見などを改めて整理・検証し、それぞれの事業の問題点や改善すべき点を町への提言として取りまとめます。
(8月)

Step2 幸田町事業仕分け委員会から町への提言

委員会として検討し取りまとめた提言書を、町長に提出します。
(9月)

Step3 事業仕分け結果および委員会からの提言に対する町の対応方針の検討

事業仕分けの判定結果と幸田町事業仕分け委員会からの提言に基づき、町はそれぞれの事業についてそもそものあり方や今後の進め方などについて検討します。
(10月)

Step4 議会への協議

町の対応方針を議会の各常任委員協議会において協議します。
(11月)

Step5 次年度以降への反映

議会への協議を経て決定された方針に基づき、次年度以降の予算編成や事業展開に可能な限り反映させていただきます。